

ロイコチトゾーン病予防にヌカカトラップを提案

ニワトリのロイコチトゾーン病は、貧血により産卵率の低下や死亡することもある疾病で、夏から秋にかけてヌカカ(蚊)が病原体を媒介します。これまではワクチンで予防していましたが、販売が終了したために代替策が必要となっています。

今回、綾部市内の養鶏場で、ヌカカに関する既知の情報をもとに薬剤を使用しない安価で自作可能なトラップの試作、提案を行いました。今後、ヌカカ捕獲数の調査とニワトリの健康観察を行い、対策の効果を検証します。



試作トラップ：据え置き型（左）、吊り下げ型（右）